



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら！



まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます！
「福祉転用による建築・地域のリノベーション 成功事例で読み解く企画・設計・運営」
著・編集：森一彦、加藤悠介、松原茂樹、山田あすか、松田雄二 ほか 出版：学芸出版社

近年、人口減少、少子高齢化による建物の空き家が急増する一方で、高齢者支援に加え障害者の地域移行、子育て支援などのための福祉施設の不足が進行しています。このような状況の下、新築に比べて低コストで空き家・空きビルを福祉的なサービス・機能に活用する「福祉転用」が注目されています。地域内のデッドスペースを利用者が主体となって利活用することで、地域共生や地域福祉につなげている先進的な事例も生まれています。

福祉転用は地域の实情に合わせて一つずつ丁寧にデザインしていくことが求められ、建築の技術だけではなく、企画・設計・運営にわたる総合的な調整能力が必要とされます。本書では、福祉転用実現のためのステップを企画・構想から計画・設計、運営まで10段階に分けて整理し、これから福祉転用に携わる方にも分かりやすい内容となっています。この他、国内での成功事例や制度・地域との関わり方、海外での考え方などヒントが盛りだくさんです。これから福祉転用による建築・地域のリノベーションを実践する方は、ぜひ一読ください。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

下仁田町 建設水道課 柳 圭一郎



柳 圭一郎さん(1番左側)



講座の様子

私は、平成30年度「魅力のあるまちづくりのパートナーネットワーク講座」を受講したことを受け、令和元年7月に群馬県まちづくりファシリテーターに認定されました。受講のきっかけは、大学時代に所属していたゼミの天下先生が当講座の講師をしており、群馬県出身ということからお声をかけていただき、講座に参加しました。初回の講座に参加したときは、周りの方々が大人の人ばかりで緊張しましたが、グループワークなどでは、協力し意見を出し合っていくうちに、次第に緊張もとけ、回数を重ねるごとに仲が深まりチームが一丸となって楽しく、内容の濃い講座を受講することができました。また講座では、いろいろな人の立場や目線の役割分担を決めて話し合いをするなど、実際のファシリテーターとしての雰囲気を感じることもできました。まち歩きでは、実際にまちを歩くことによって、その場所の潜在的な魅力や問題点などを肌で感じ、より質の高い意見や緊張感のあるグループワークを経験することができました。ファシリテーターはただ相手の意見を聞き出すだけではなく、課題に対して最終的な目標の設定や、限りあるワークショップの時間を有効に使うための時間配分、発言の少ない人の意見を引き出すことのできる雰囲気づくりなどが重要であることを学ぶことができました。実際にファシリテーションを行うときには、今回学んだことを生かしていこうと思います。最後に、今回の講座に参加したことで、事務局の皆様をはじめ、多くの市町村の皆様と交流させていただき、本当に楽しく、充実した時間を過ごすことができました。

※パートナーネットワーク講座は昨年度で終了しました。

マーチィの掲示板

「第4回まちづくり講演会」を開催しました

公益財団法人 前橋市まちづくり公社 まちづくり推進課

前橋市まちづくり公社では、市民団体等が主体となったまちづくり活動の促進及び新たなまちづくりの担い手の発掘と育成を目的として、まちづくり講演会を開催しています。この度、4回目の開催となるまちづくり講演会が、令和2年8月21日(金)、前橋テルサ9階つづじの間で約40名の参加者を集め開催されました。



講演会の様子

講師には、拓殖大学商学部准教授でスポーツマネジメント、スポーツ政策を専門とする松橋崇史先生を招き、「これからのまちづくりにおけるスポーツの役割」と題し、「スポーツまちづくり」を切り口として、各地での事例紹介から、官民連携によるまちづくりの進め方、また、ウィズコロナ、アフターコロナと呼ばれる今後の社会情勢の中でのスポーツまちづくりの役割や変化等について、スライドを用いながらご講演いただきました。約70分間の講演を終え、参加者は今後のまちづくり活動のヒントやきっかけを今回の講演会から得られたのではないのでしょうか。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

前橋市まちづくり公社では、今後もこうした講演会等を通し、まちづくり活動の促進、啓発事業を進めて参ります。



講師の松橋崇史先生

